

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和7年度事業報告書

1 臓器移植に関する知識の普及啓発に関する事業

(1) イベント等における普及啓発

- ・福島県庁内献血会で、普及啓発ブースを設置しアイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけを行った。(県庁玄関ホール4月2日、4月14日、1月7日、1月8日)
- ・イオン福島店で、アイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけを行った。
(11月11日)
- ・第41回目の愛護デー講演会開催(伊達市 10月5日)
- ・こおりヘルスアップ DAY(桑折町 11月9日)
- ・ふくしま推しの健活フェスタ 2025(郡山市 9月28日)

(2) グリーンライトアップの実施

- ・10月の臓器移植普及推進月間、10月16日のグリーンリボンデーに合わせたライトアップ実施(21施設27か所)

(3) 各種関係機関との連携による普及啓発

- ・関係団体等にリーフレット、ポスター配布および掲示依頼(昨年度より継続)
59市町村、県内道の駅35駅、職業安定書15箇所、医療機関(救急告示病院)
- ・若い世代への意思表示促進を目的として、成人の日のイベントで配布する臓器移植リーフレットを市町村へ送付
- ・県民、医療機関等の問合せに対応し、各種リーフレット等を送付
- ・福島県庁県民ホール等へポスター、リーフレットの掲示(10月)

(4) 講師派遣

- ・福島県警察学校にて警察官に講義(8月19日)

(5) 広告媒体の活用による情報発信

- ・JR郡山駅にてデジタルサイネージ広告(10月13日～10月26日)

(6) 普及啓発資材の配布

- ・若年層を中心とした県民に対し、臓器提供の意思表示等について知り、考えるきっかけとなるリーフレット等を配布
県内の高校89校、医療系大学、短大、専門学校34校

2 臓器移植に関する援助事業

(1) 県臓器移植コーディネーターの設置及び資質向上

- ・公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催
北海道・東北臓器移植コーディネーター会議
(5月30日 北海道函館市、11月28日 青森県青森市)
全国都道府県コーディネーター連絡会議(7月4日 WEB、2月26日 欠席)
コーディネーター級別研修会
(6月26日～27日 WEB、11月12日～14日 WEB)

- ・日本集中治療学会「地域ドナーコーディネーターチーム養成コース」
(8月24日 東京都内、10月28日 大阪府)
- ・第61回日本移植学会(10月10日～11日 愛知県)
- ・福島県立医科大学附属病院移植医療部会(2回)
- ・福島県立医科大学肝胆膵移植外科学講座 移植医療ミーティング(毎週金曜日 適宜参加)
- ・都道府県臓器移植推進組織協議会総会(10月10日 愛知県)
- ・公益財団法人日本アイバンク協会主催 東北ブロック会議(12月19日 東京都内)
- ・公益財団法人日本アイバンク協会主催 全国連絡協議会(12月19日 東京都内)
- ・第59回日本臨床腎移植学会(2月13日～14日 東京都内)
- ・角膜カンファランス 2026(2月21日 東京都内)

(2) あっせん対応

- ・脳死下臓器提供対応件数：2件

令和7年5月14日(第1206例目)

一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院

心臓(北海道大学病院)

肺(東京大学医学部附属病院)

肝臓(自治医科大学附属病院)

腎臓(山形大学医学部附属病院、秋田大学医学部附属病院)

令和8年3月9日(第1333例目)

一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院

心臓(東京大学医学部附属病院)

肺(京都大学医学部附属病院)

肝臓(東京大学医学部附属病院)

腎臓(東北大学病院)

- ・県外支援：2件

栃木県(11月10日～11日)

京都府(2月3日～6日)

- ・臓器提供情報対応：1件(10月8日)
- ・ドナー家族訪問：1件(7月4日)

(3) 地域連携促進活動

臓器提供への協力について意向等を確認するため、病院長、看護部長、事務長、救急科医師等と面談を行った。

- ・脳死下臓器提供が可能な施設(5類型)に該当している施設への訪問：延べ21件

杣記念病院

総合南東北病院

星総合病院

太田西ノ内病院

寿泉堂総合病院

会津中央病院
竹田総合病院
会津医療センター
南相馬市立総合病院
福島労災病院

(4) 都道府県内研修

・院内コーディネーター等を対象とした研修会の実施

①脳死下臓器提供研修会（5月10日参集型 参加者54名）

- ・法的脳死判定シミュレーション
- ・講義「法的脳死判定の注意点」「記録書の記載について」

群馬県臓器移植コーディネーター 稲葉 伸之 先生

②令和7年度第1回福島県院内コーディネーター研修会

（9月19日参集型 参加者60名）

・脳死下臓器提供症例報告

一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院

院内コーディネーター 佐藤 マチ子、奥山 千鶴子

・臓器提供の院内体制整備と法的脳死判定シミュレーションを振り返って

一般財団法人脳神経疾患研究所 総合南東北病院

救急センター長 佐々木 徹 先生

・臓器提供のプロセス～入院から承諾手続き～（講義、グループワーク）

日本赤十字社 京都第二赤十字病院

救命救急センター 救命集中治療科部 部長 成宮 博理 先生

③令和7年度福島県臓器提供セミナー／第2回福島県院内コーディネーター研修会

（12月13日参集型 参加者73名）

・脳死下臓器提供手術シミュレーション

・全体研修会

1)講義「不可逆性全脳機能不全患者の全身管理」

日本赤十字社 京都第二赤十字病院

救命救急センター 救命集中治療科部 部長 成宮 博理 先生

2)ワークショップ

「臓器提供のプロセス～私たちは終末期の患者・家族とどう関わるのか～」

④令和7年度福島県移植医療講演会

（2月28日ハイブリッド開催 参加者55名）

・「法的脳死判定マニュアル2024」と「最新の質疑応答集」の解説と脳死判定記録の書き方

日本赤十字社 京都第二赤十字病院

救命救急センター 救命集中治療科部 部長 成宮 博理 先生

- ・集中治療室における終末期医療 - 器質的脳障害の終末期医療と臓器提供

掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター

院長補佐 救命救急センター長 松島 暁 先生

- ・トークセッション

テーマ：「終末期の患者の命とどう向き合っていくのか」

座長：一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院

小児科部長 進藤 孝洋 先生

3 臓器移植に係る組織適合検査の助成に関する事業

腎臓移植希望者が日本臓器移植ネットワークに新規登録を行う際の費用について、自己負担を軽減するために、組織適合（HLA）検査の一部費用（上限 15,000 円）を助成するもの。

- ・助成金交付件数：11 件（～現在）

※福島県の腎移植希望登録者数 173 名（令和 7 年 181 名）

（参考：日本臓器移植ネットワーク HP、令和 7 年 12 月 31 日現在）

4 眼球のあっせん等に関する事業

4-1 眼球提供者の募集および登録に関する事業

- ・登録希望者の受付、登録、登録カードの発行

眼球提供登録申込者 8 名（前年度 19 名）

- ・移植希望登録者の把握（令和 8 年 2 月 28 日現在）

県内 3 名

全国 2,117 名（参考：日本アイバンク協会 令和 7 年 3 月末現在）

4-2 眼球提供のあっせん並びに眼球の摘出及び保存に関する事業

- ・眼球の摘出、あっせんの実施

眼球提供者 2 名（前年度 0 名）

角膜提供情報対応 4 件（前年度 0 件）

角膜あっせん 4 眼（前年度 あっせん 0 眼）

強膜あっせん 0 眼（前年度 あっせん 0 眼）

角膜あっせん要請 0 眼（前年度 あっせん要請 0 眼）

5 その他の事業

（1）感謝状発送事業

- ・感謝状発送 2 件

（2）受取寄付金等事業（令和 8 年 2 月 28 日現在）

- ・福島県眼科医会様 30 万円
- ・ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区様 30 万円
- ・ときわ会常磐病院様（寄附型自販機設置による寄附）2 台 102,178 円
- ・福島県立医科大学駅前キャンパス様（寄附型自販機設置による寄附）12,044 円

(3) 賛助会員の募集

- ・ 賛助会員数 1 団体（広野町） 10,000 円

6 法人の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

- ・ 理事会

第27回理事会（6月6日）書面決議

令和6年度事業報告及び収支決算を承認した

第13回定時評議員会の開催について承認した

- ・ 評議員会

第13回評議員会（6月23日）

令和6年度事業報告をした

令和6年度収支決算が承認された

役員の選任について承認された

(2) 監事による監査

第12回監事会（5月13日）対面開催

令和6年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた

(3) 財団関係者の意見交換会の開催等

目の愛護デーの開催について、福島県眼科医会、ライオンズクラブ、財団で意見交換を行った

令和 7 年度事業報告書の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成なし。

令和 8 年 5 月

公益財団法人福島県臓器移植推進財団